

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

⦿ **BLACK BORDERS**

- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

PACKAGE DISPLAY DEVICE

Utility Model Registration Publication Number: JP 3-69461
Publication date: 1991-07-10
Inventor(s): MASAYOSHI YASUDA
Applicant(s): NIKKO GURABIA INSATSU KABUSHIKIKAISHA
Requested Utility Model Registration:
Utility Model Application Number: 1989131332 19891110
Priority Number(s):
IPC Classification: A47F7/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

OBJECT: The present invention has its object for providing a package display device being able to see bags supplying goods at first glance from each bag, being able to arrange to approach easily and remove, and being secure from occurring damage of the bags in the case of removing the bags.

CONSTITUTION: The present invention is a package display device which comprises one or more flexible bags being closed the both sides edge and the top edge, having the bag mouth in the bottom edge and the bag cover extending from the surface in order to close the bag mouth, being applied an adhesive on the back side of the top edge and the inner face of the bag cover and, a base seat having the surface layer being able to bond the adhesive on the back side of the top edge and the inner face of the bag cover and separate the adhesive.

公開実用平成 3-69461

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-69461

⑬ Int.Cl.³

A 47 F 7/00

識別記号

F

庁内整理番号

6850-3B

⑭ 公開 平成3年(1991)7月10日

審査請求 有 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 包装展示装置

⑯ 実 願 平1-131332

⑰ 出 願 平1(1989)11月10日

⑱ 考 案 者 保 田 将 義 大阪府東大阪市楠根3丁目6番21号 ニッコーグラフィア印刷株式会社内

⑲ 出 願 人 ニッコーグラフィア印刷株式会社 大阪府東大阪市楠根3丁目6番21号

⑳ 代 理 人 弁理士 谷川 昌夫



明 細 書

1. 考案の名称

包装展示装置

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) 両側部および上端部が閉じられ、下端部に袋口と該袋口を閉じるための袋表面から延在する袋蓋とを有し、前記上端部裏面および前記袋蓋内面にそれぞれ感圧性接着剤が設けられた折り曲げ可能な1または2以上の袋と、

前記袋上端部裏面上の感圧性接着剤が剥離可能に付着できる表面層を有する台シートと、

を備えたことを特徴とする包装展示装置。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は各種商品の店頭における包装展示、写真、伝票類等の保管等に利用できる包装展示装置に関する。

〔従来技術〕

従来、袋詰めした商品を吊り下げ展示する方法としては、壁体から突出させたロッドに袋に設け



たフックや吊り輪を掛ける、袋に設けた孔を該棒に嵌める等の方法が採用されている。また袋詰め商品の古くからある展示方法として、袋を適当な台紙に接着剤で接着吊り下げする方法も知られている。

〔考案が解決しようとする課題〕

しかし、壁体から突出させたロッドに袋を吊り下げの方法は、吊り下げられた袋が前後に重なるため、どれぐらいの数の袋がロッド上に残存しているかを一見して知ることが困難である上、ロッドに吊り下げられた複数の袋のうち奥の袋を取り出そうとするときには、それより前に吊り下げられている袋が邪魔になって、該奥の袋を取り出しにくいという問題がある。

また、台紙に接着剤で袋を貼り付ける場合には、壁体から突出したロッドに袋を吊り下げの場合の問題はないが、台紙から袋を取り外す際、袋の一部が破れたり、台紙が破れて見苦しくなったりするという不都合がある。

そこで本考案は、物品を納めた袋をいずれの袋



も一見して見えるように、また何れの袋にでも容易に接近して取り外すことができるように配置できるとともに該袋を取り外す際、該袋等が損傷するおそれが無い包装展示装置を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

本考案は前記目的に従い、両側部および両端部が閉じられ、下端部に袋口と該袋口を閉じるための袋表面から延在する袋蓋とを有し、前記上端部裏面および前記袋蓋内面にそれぞれ感圧性接着剤が設けられた折り曲げ可能な１または２以上の袋と、

前記袋上端部裏面上の感圧性接着剤が剥離可能に付着できる表面層を有する台シートと、

を備えたことを特徴とする包装展示装置を提供するものである。

〔作用〕

本考案包装展示装置によると、各袋はその上端部裏面に設けた感圧性接着剤により台シート上に貼着され、袋下端部の袋口から袋内に物品が収容



され、しかるのち、袋蓋が袋裏面側へ折り曲げられ、該袋蓋内面の感圧性接着剤によって閉じ得られる。

〔実施例〕

以下本考案の実施例を図面を参照して説明する。

第1図および第2図は商品Aを包装展示している状態の包装展示装置を示している。

この包装展示装置は、商品Aを収容包装する複数の袋1と台シート2とを備えている。

各袋1は第3図および第4図に示すようにポリプロピレン製のフィルムを2つ折りして袋表フィルム11および袋裏フィルム12とするとともに折り曲げ部に補強シート13を挟み込み、袋両側縁14、14および補強シート13直下の部分15においてフィルム11および12を熱溶着したものであり、下端部には袋口16および該袋口16を閉じるための袋蓋17が形成されている。袋蓋17は袋表フィルム11が袋裏フィルム12よりも長く下方へ延び、該長く延びた部分によって提供されている。なお、袋1はポリエチレンその



他の合成樹脂フィルムやヒートシール可能な各種の複合フィルムからなっているもよい。

該袋の上端部 130 裏面には両面接着テープ 3 が貼着され、離型フィルム 4 によって覆われている。

また、袋蓋 17 の内面にも両面接着テープ 5 が貼着され、該テープは離型フィルム 6 によって覆われている。両面接着テープ 3 および 5 は何れも第 7 図(1)および(2)に示すように、テープ基材 a の表面に該基材よりも細幅に感圧性接着剤 b を塗布するとともに基材 a の裏面 a2 全体に感圧性接着剤 b を塗布してなるものであり、裏面 a2 が袋上端部裏面および袋蓋内面に貼着されている。

なお両面接着テープの基材テープ a はポリエステル製であり、離型フィルム 4 および 6 は HD ポリエチレン製である。

なお、基材テープ a の材質は、ポリプロピレンその他の合成樹脂、紙等でもよく、離型フィルムは HD ポリエチレンフィルム以外の適当な合成樹脂フィルムや紙等でもよい。



かかる袋には、袋口 16 から商品 A を收容することができ、商品收容後袋蓋内面の両面接着テープ 5 から離型フィルム 6 を剥離するとともに、商品 A の大きさに応じて袋を裏側へ折り曲げ、袋蓋 17 内面の接着テープ 5 を袋裏面フィルム 12 に貼着して閉じることができる。

このように商品を收容した袋の上端部 130 の接着テープ 3 から離型フィルム 4 を剥がし取り、該接着テープ 3 により台シート 2 の所定箇所に第 1 図および第 2 図に示すように順次貼着し、該台シート 2 ごと展示することができる。

台シート 2 の上端部 21 は、商品名、商標、キャッチフレーズその他、用途や使用説明を漫画化して示した図や模様その他を任意に表すことができる部分である。

また、袋 1 を貼着する部分 22 には、第 6 図に示すように、袋の数や各袋のサイズ、形状等に応じて袋を適切な位置に貼着するための基準線 $\ell 1$ 、 $\ell 2$ が縦横に引かれている。なおこの袋貼着部分 22 にも袋を取り去った後に好ましい模様等が現



れるようにこの部分に模様その他を表してもよい。

なお台シート2の最上端には吊り下げ紐25が連結されている。

台シート2の袋貼着側表面層24は袋1上の両面接着テープ3が確実に付着することができ、それでいて該テープ3を袋ごと台シートから剥離することも可能な表面層であり、本例の場合は台シート本体を構成する紙23の片面にポリプロピレン製フィルムをラミネートして形成されている。なお、ラミネート材料としては、ポリプロピレン以外の剥離容易な合成樹脂フィルムでもよい。

以上説明した包装展示装置によると、台シート2上に貼着された各袋1は、一見してその存在および数がわかるとともに、何れの袋にも任意に接近してこれを台シート2および袋1を傷つけることなく剥がし取ることができる。また各袋1は、第5図に示すように、袋内に納める物品Aの大きさ形状等に応じてコンパクトに折り曲げ閉じることができる利点がある。さらに、台シート2から袋1を剥がし取った後は、袋上端部を第5図の矢



印 C C W 方向に折り曲げて両面接着テープ 3 を袋表フィルム 1 1 に貼着し、全体をコンパクトにまとめることも可能である。

次に第 8 図および第 9 図に示す他の実施例について説明する。

この実施例は写真アルバムとして利用できる本考案に係る包装展示装置である。

この写真アルバムは、前記第 1 図に示す包装展示装置における袋 1 と同構造の袋 1 a と、第 1 図に示す台シート 2 と同じ材質の台シート 2 a とを備えている。

各袋は第 8 図および第 9 図に示すように一部を重ねた状態で上端部裏面の両面接着テープにより台シート 2 a 上に貼着されており、各袋には写真 B を入れ、袋下端の袋蓋 1 7 a を袋裏側へ折り曲げ、該袋蓋内面の両面接着テープ 5 a にて袋裏面に留め閉じされている。

各袋 1 a における袋蓋 1 7 a は、その内面の両面接着テープを袋裏面から剥離することができ、従って中の写真 B を容易に入れ換えることができ



る。

第8図および第9図に示すような写真アルバムは必要に応じこれを予め複数枚綴じておいてもよいし、台シート上の各袋にすべて写真が納められると、次の台シートを準備して重ね綴じていくようにしてもよい。

なお、前記何れの実施例の場合にも、物品を納める袋には、予め文字、図形等を必要に応じ印刷しておくことができる。

本考案は前記実施例に限定されるものではなく他にも様々な態様で実施することができる。

前記袋上端部および袋蓋に感圧性接着剤を設ける方法としては、前記実施例におけるように両面接着テープを貼着する他、感圧性粘着剤をコーティングする等の方法も考えられる。

また袋上端部には必要に応じ図示しない吊り下げ用孔を設けてもよい。また袋上端部の補強シート13は必ずしも必要ではない。

〔考案の効果〕

本考案によると、物品を納めた袋を何れの袋も



一見して見えるように、また何れの袋にでも容易に接近して取り外すことができるように配置できるとともに、該袋を取り外す際、該袋等が損傷するおそれが無い包装展示装置を提供することができる。

また本考案によると、かかる包装展示装置における各袋は、そこに納める物品Aの大きさや形状に応じ、コンパクトに閉じることができ、さらに、物品を納めた袋を台シートから剥がし取った後、袋上端部をコンパクトに折り曲げ畳んで留めることができる利点がある。さらに該袋は、必要に応じ一端閉じた袋蓋を開けて内部の物品を取り出しあるいは交換することができる利点がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図から第7図は本考案の一実施例を説明するためのもので、第1図は全体の正面図、第2図は全体の側面図、第3図は袋の正面図、第4図は第3図のX—X線に沿う断面図、第5図は袋内に物品を収容して袋を閉じた状態の断面図、第6図は台シートの正面図、第7図(I)は両面接着テープ



の表面図、第7図(2)は両面接着テープの裏面図である。第8図および第9図は写真アルバムとして構成した場合の本考案の他の実施例を示すもので、第8図は正面図、第9図は側面図である。

1、1 a … 袋

1 3 0 … 袋上端部

1 4 … 袋側部

1 6 … 袋口

1 7 … 袋蓋

3、5 … 両面接着テープ

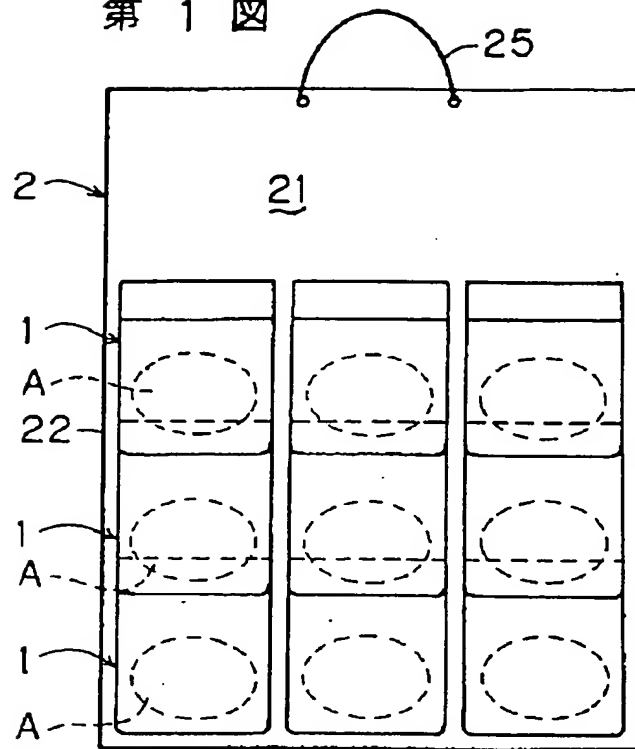
b … 感圧性接着剤

出願人 ニッコーグラフィア印刷株式会社

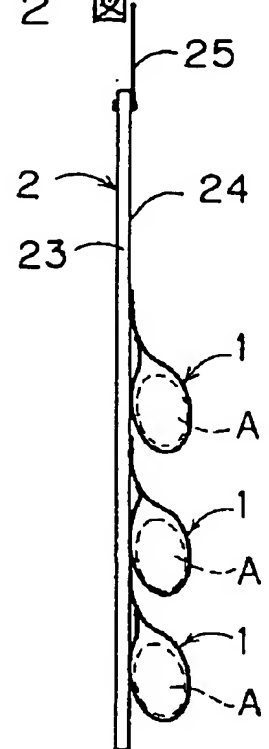
代理人 弁理士 谷 川 昌 夫



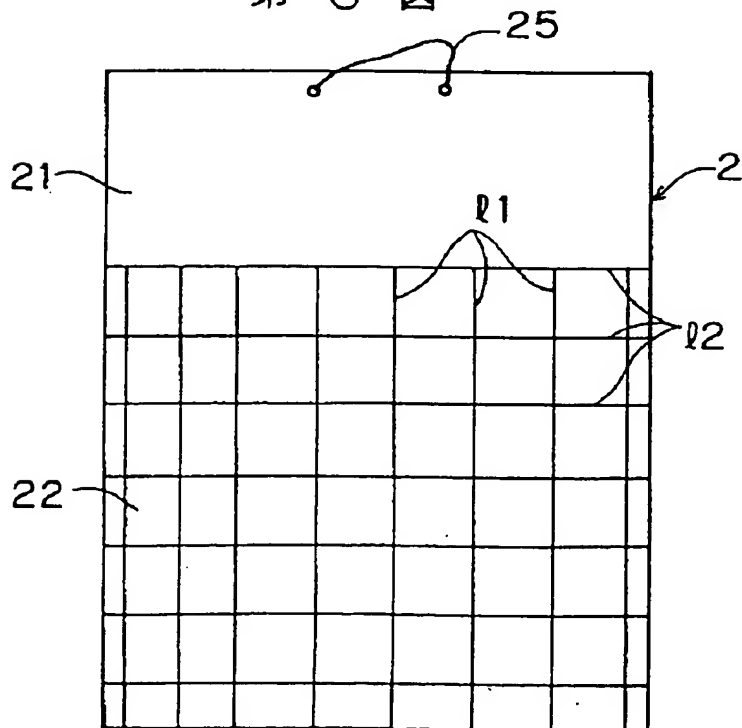
第 1 図



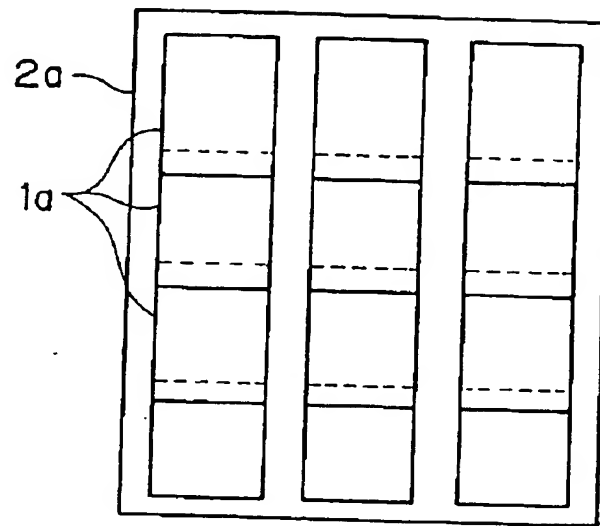
第 2 図



第 6 図

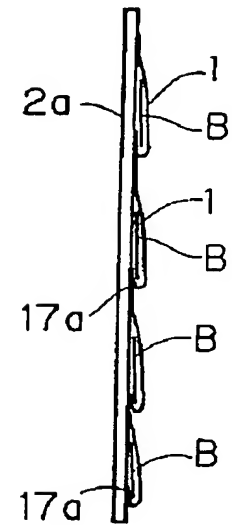


第 8 図



1a ... 袋

第 9 図



768

代理人 谷川 昌夫 実開 3-69